

# 平成19年海外事業活動基本調査 調査票記入の手引き

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、我が国企業の海外事業活動の実態を把握し、今後の産業政策及び通商政策の推進に資することを目的とし、昭和46年から毎年実施しているものです。

### 2. 調査の法的根拠及び秘密の保護

この調査は、統計報告調整法第4条に基づく承認を受けて、経済産業省が実施しております。

また、この調査により申告された記入内容は、統計法によって秘密が保護されます。したがって統計目的以外の、例えば徴税事務などに使用されることはありません（統計法第14条）。

### 3. 調査の対象

#### (1) 本社企業

平成19年3月末現在で海外に現地法人を有している、もしくは過去に有していた我が国企業（金融・保険業、不動産業を除く。以下「本社企業」といいます。）を対象としています。

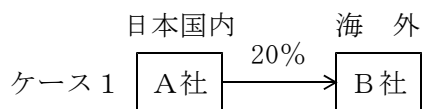
#### (2) 現地法人

以下の外国法人がこの調査の対象です。

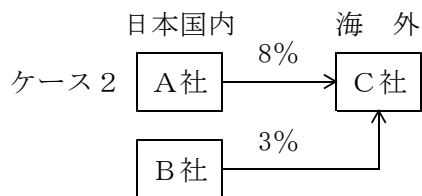
なお、子会社と孫会社を総称して「現地法人」と呼びます。

- ① 日本側出資比率合計が10%以上の外国法人（子会社－ケース1及び2）
- ② 日本側出資比率合計が50%超（50%は含みません。）の子会社が50%超の出資を行っている外国法人（孫会社－ケース3及び4）
- ③ 日本側親会社の出資と日本側出資比率合計が50%超の子会社の出資の合計が50%超の外国法人（孫会社－ケース5）

#### <子会社対象例>

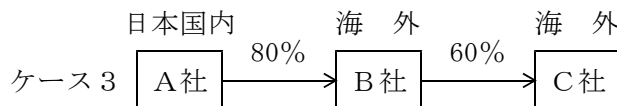


この場合、A社からB社への出資比率合計が10%以上であるため、B社は調査の対象となります。

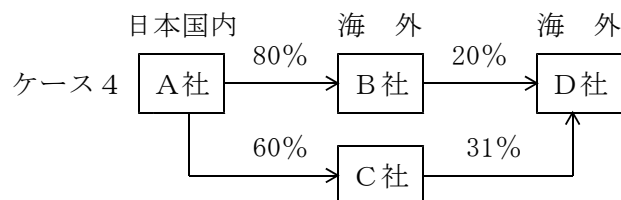


この場合、A社とB社からC社への日本側合計出資比率が10%以上となるため、C社は調査の対象となります（この場合A社がご回答ください。）。

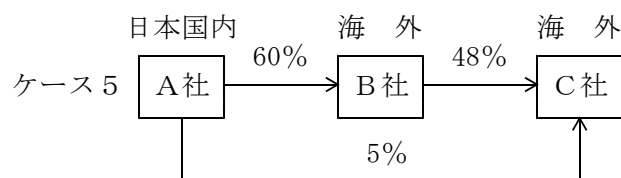
#### <孫会社対象例>



この場合、A社からB社への出資比率が50%を超えており、かつ、B社からC社への出資比率も50%を超えていることから、C社は調査の対象となります。

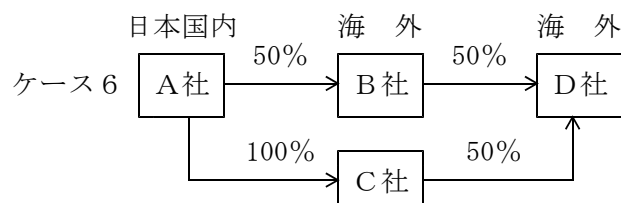


同様に、 $20 + 31 = 51\%$ となり、日本側合計出資比率が50%を超えていることから、D社は調査の対象となります。



この場合も、C社への日本側合計出資比率が $48 + 5 = 53\%$ となり、50%を超えていることから、C社は調査の対象となります。

#### ※孫会社で対象とならない例



この場合、A社からB社への出資比率が50%を超えていないため、B社からD社への出資は出資比率計算の対象とはなりません。したがって日本側合計出資比率はC社からD社への50%のみとなりますが、これも50%を超えていないことから、D社は調査の対象となりません。

## 4. 調査の方法

この調査は、経済産業省が本社企業に調査書類を郵送により配布し、各本社企業等に記入、返送していただく書面調査です。

なお、必要に応じて経済産業省より電話等により内容の照会をさせていただく場合があります。

## 5. 調査票の提出期限

調査票は、平成19年8月31日までに必ず到着するように提出してください。

## 6. 調査結果の公表

この調査は、業種別、地域別等に集計し、経済産業政策局調査統計部企業統計室及び貿易経済協力局貿易振興課により分析、公表します。

## Ⅱ．共通事項

### 1. 調査時点及び調査年度

この調査の調査時点は、平成19年3月31日現在で、年度間実績は平成18年度（2006年度）について記入してください。

#### (1) 1年決算の場合

平成19年3月31日又はそれ以前で最も近い決算日を平成18年度末（2006年度末）としてください。

#### (2) 半年決算の場合

平成19年3月31日又はそれ以前で最も近い決算日を平成18年度末（2006年度末）とし、年度間実績については当該期及びその前期を合計（上・下半期の合計）して記入してください。

#### (3) 決算期の変更等

決算期の変更等により年度間実績を正確に記入できない場合には、適宜、貴社の区分に従って記入していただいて結構です。

なお、その際は備考欄にその旨を明記してください。

### 2. 数値等の記入

(1) 単位未満は四捨五入してください。

(2) 各欄の数値は右詰めで、1マスに1字記入してください。

(3) マイナスの場合は金額の先頭に「△」をつけてください。

例 

			△	1	2	3
--	--	--	---	---	---	---

(4) 正確な数値の算出が著しく困難な場合には、概算または推計によって記入していただいても結構です。

(5) 実績がない場合には「0」を記入してください。

### 3. 金額の円換算

(1) **金額はすべて円建表示とし、百万円単位**で単位未満を四捨五入してください。

(2) 他国通貨の円換算は「別表1. 国分類、地域分類表（付、国別通貨換算表）」に従って行ってください。

なお、資本金については貴社が出資当時に使ったレートを使用して換算してください。

(3) 正確な金額の算出が著しく困難な場合には、概算または推計による記入でも結構です。

### 4. 調査票への記入方法

(1) 「本社企業調査票」については、平成19年3月31日現在で現地法人を所有していない本社企業も記入してください。

(2) 「現地法人調査票」

① 平成19年3月31日現在本社企業が有する現地法人すべてについて、現地法人**1社につき「現地法人調査票」を1枚ずつ**記入してください。

「現地法人調査票」が不足した場合、経済産業省海外事業活動基本調査事務局にご連絡いただくか、恐縮ですが不足分をコピーして記入していただきますようお願いします。

② 日本側出資者が複数存在する場合

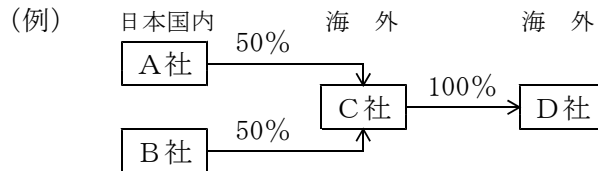
当該現地法人に対して日本側が共同出資である場合については、日本側出資比率が最大の本社企業（同率出資の場合は幹事企業）が記入してください。

したがって、日本側の出資比率が最大ではない本社企業（同率の場合は非幹事企業）は、当

該現地法人の「現地法人調査票」の記入は不要です。

③ 孫会社の場合

当該孫会社に出資している現地法人（子会社）の「現地法人調査票」を記入していただいた本社企業が、孫会社についても記入してください。



上記のケースではC社及びD社の調査票をA社かB社に作成していただきますが、C社の調査票をA社が作成したならば、D社の分についても併せてA社が作成してください。

④ 調査票の**提出は原則日本語版**でお願いします。

ただし、既に外国語版に記入された場合はそれを提出されても差し支えありません。

外国語版の調査票及び記入要領は、現地法人の参考資料用として、英語、中国語、韓国語の3カ国語版を用意しております。

なお、中国語、韓国語版の調査票が必要な場合は別途送付いたしますので、経済産業省海外事業活動基本調査事務局に連絡してください。

また、英語版の調査票は下記の経済産業省のホームページにも掲載されておりますので利用してください。

<http://www.meti.go.jp/english/statistics/data/h2c4tope.html>（経済産業省英語版HP）

5. **フロッピー等電子媒体での提出について**

フロッピーディスク等の電子媒体で提出される場合、経済産業省海外事業活動基本調査事務局にて**所定のフォーマット**を別途用意しておりますので、**ご連絡ください**。所定外のフォーマットでは受付できかねますのでご了承ください。

### Ⅲ. 本社企業調査票

調査票の1頁目の「記入内容の照会先」、「企業の概要」については、昨年度までに貴社から報告していただいた内容をプレプリントいたしました。プレプリントの内容に、その後修正があった場合は、その箇所を ―― で消して、修正してください。

また、プレプリントされていない場合には必ず記入してください。

#### 記入内容の照会先欄

##### 記入者の氏名

調査票を記入していただいた担当者のお名前を記入してください。

##### 所属部署名

調査票を記入していただいた担当者の所属する部署名を記入してください。

##### 電話番号

調査票を記入していただいた担当者の所属する部署の電話番号を市外局番から記入してください。

#### 1 企業の概要

##### 101. 企業の名称

商号またはその他営業上用いている正式の名称を記入してください。

また、そのフリガナをカタカナで記入してください。

「株式会社」のフリガナは「カブ」と省略して記入してください。

##### 102. 所在地

本社または本店の所在地及び郵便番号を記入してください。

登記簿上の本社または本店の所在地と実際に本社機能を有する所在地が異なる場合は、実際に本社機能を有する場所の所在地及び郵便番号を記入してください。

##### 103. 業種分類

業種分類は、日本標準産業分類に準拠して本調査用の業種分類表を作成しています。記入に当たっては「別表4. 業種分類表」を参照して該当する業種番号、業種名を記入してください。

なお、業種名が不明の場合は、貴社の具体的な業務内容を記入してください。また、業種が多岐にわたる場合には、売上高の最も大きい業種としてください。

##### 104. 消費税の取扱

金額を記入していただく項目に関して、消費税が含まれているか、否かを記入してください。

税込みの場合は「1」に、税抜きの場合には「2」に○印をつけてください。

##### 105. 資本金又は出資金

平成19年3月末時点の払込済資本金の額、または出資金の額を記入してください。

#### 2 企業の操業状況等

##### 201. 調査対象海外現地法人の有無

調査時点（平成19年3月末現在）における「日本側出資比率合計が10%以上である海外現地法人」あるいは「日本側出資比率合計が50%超の子会社が50%超の出資を行っている外国法人」の有無について、該当する番号に○印をつけてください。

なお、「2. 無し」とされた場合でも、年度途中まで存在した場合、現地法人調査票にはその実績を記入し、提出してください。

## 202. 本社企業の操業状況

調査時点（平成19年3月末現在）における貴社の操業状況について、「1. 操業中」、「2. 初決算前」、「3. 休眠中」、「4. 解散」のうちから、該当する番号に○印をつけてください。

## 3 雇用の状況

### 301. 常時従業者数

貴社の常時従業者数を記入してください。

常時従業者数とは、有給役員、常用雇用者（正社員、準社員、アルバイト等の呼称にかかわらず、1ヶ月を超える雇用契約者と、平成19年3月末の前2ヶ月において、それぞれ18日以上雇用したもの。）の合計をいいます。

なお、平成19年3月末現在の状況を記入できない場合には、それ以前で最も近い記入可能な時点の常時従業者数を記入してください。

## 4 売上の状況

以下の調査項目のうち、「401. 売上高」、及び「402. うち輸出額」は「平成19年経済産業省企業活動基本調査」（下表に掲げる業種に属する事業所を有し、従業者50人以上、かつ、資本金又は出資金3千万円以上の企業を対象として当省が別途調査を行っているものです。）に、貴社が回答してくださっている場合は、記入の必要はありません。

なお、金融・保険業\*は、海外事業活動基本調査の本社企業調査においては対象外業種です。

経済産業省企業活動基本調査の調査対象業種

鉱業	
製造業	
電気・ガス・熱供給・水道業	電気業
	ガス業
情報通信業	ソフトウェア業
	情報処理・提供サービス業
	インターネット附随サービス業
	映画・ビデオ制作業
	テレビ番組制作業
	新聞業
	出版業
卸売・小売業	卸売業
	小売業
金融・保険業*	クレジットカード業・割賦金融業
飲食店、宿泊業	一般飲食店
教育・学習支援業	外国語会話教室
	フィットネスクラブ
	カルチャー教室（総合的なもの）
サービス業	デザイン、機械設計業
	写真業
	エンジニアリング業
	学術・開発研究機関
	洗濯業
	その他の洗濯・理容・美容業・浴場業
	冠婚葬祭業（冠婚葬祭互助会を含む）
	写真現像・焼付業

サービス業	その他の生活関連サービス業
	映画館
	ゴルフ場
	スポーツ施設提供業（その他の娯楽業に該当するものを除く）
	公園、遊園地・テーマパーク
	ボウリング場
	廃棄物処理業
	機械等修理業
	電気機械器具修理業
	産業用機械器具賃貸業
	事務用機械器具賃貸業
	自動車賃貸業（レンタルを除く）
	スポーツ・娯楽用品賃貸業
	その他の物品賃貸業
	広告業
	商品検査業（非破壊検査業を除く）
	計量証明業
	民営職業紹介業
	ディスプレイ業
	労働者派遣業

#### 401. 売上高

売上高には、自社鉱産品売上高、自社製造品売上高、加工賃収入額（他企業から支給された原材料、半製品、部品を加工した場合の加工賃）、仕入商品売上高、その他事業収入（建設業の完成工事高、農林水産業、飲食店、サービス業の収入額等、代理商、仲立業における売上高は、商品の取扱額ではなく手数料収入額）の合計額を記入してください。

#### 402. うち輸出高

上記の売上高のうち、自社名義で通関手続を行って直接輸出した金額を記入してください。

#### 403. うち現地法人向け輸出高

上記の輸出高のうち、現地法人への直接輸出の合計額を記入してください。

#### 【アンケート項目】

- 5** 平成18年度（2006年度）に新規投資（海外現地法人の設立・海外企業への資本参加<sup>注)</sup>）または追加投資（増資等）を行った場合は「1」に、行っていない場合は「2」に○印をつけてください。

（1）「1」を選択された場合は、**6** 以下の設問に答えてください。

（2）「2」を選択された場合は、これ以降の項目について記入の必要はありません。

注）「海外現地法人の設立」とは、日本側出資比率の合計が10%以上等である調査対象現地法人を設立した場合をいい、「海外企業への資本参加」とは、海外企業へ資本参加した結果、当該企業の日本側出資比率の合計が10%以上等となる場合をいいます）。

#### **6** 投資決定のポイントについて

投資を決定した際のポイントについて、該当する項目を3項目まで選んで番号に○印をつけてください。

#### **7** 今後の海外戦略について

今後（5年を目途）の海外展開について、該当する地域ごとに○印をつけてください。

## IV. 現地法人調査票

現地法人調査票 1 頁目の「**1** 現地法人の概要」、「**2** 出資状況」については、昨年度までに貴社から報告していただいた内容をプレプリントいたしました。プレプリントした内容にその後修正があった場合は、その箇所を        で消して修正してください。

また、プレプリントされていない場合には必ずご記入ください。

### **1 現地法人の概要**

#### **101. 現地法人名**

現地法人名を英文名（A B C 等のアルファベット、すべて大文字）で記入してください。

中華人民共和国の現地法人の場合においても同様にご協力をお願いします。

（例）上海経産電機有限公司 → SHANGHAI KEISAN ELECTRIC CO. LTD.

#### **102. 国・地域分類**

現地法人の所在する国、地域を「別表 1. 国分類、地域分類表」により、国・地域番号（3 桁）、国・地域名を記入してください。

なお、香港は中華人民共和国とは別の国・地域番号となっていますので注意してください。

#### **103. 州・省分類**

国分類がアメリカ合衆国、中華人民共和国の場合、それぞれ「別表 2. 米国の州分類表」、「別表 3. 中国の省分類表」により、州・省番号（2 桁）、州・省名を記入してください。

#### **104. 業種分類**

業種分類は、日本標準産業分類に準拠して本調査用の業種分類表を作成しています。記入に当たっては、「別表 4. 業種分類表」を参照して該当する業種番号、業種名を記入してください。

なお、業種名が不明の場合は、貴社の具体的な業務内容を記入してください。また、業種が多岐にわたる場合には、最も売上高の大きい業種としてください。

#### **105. 設立・資本参加時期**

現地法人の進出時期を月まで答えてください。

設立時期と資本参加時期が異なる場合は、資本参加時期を優先させて記入してください。

#### **106. 決算月**

本調査にご記入いただく決算内容の決算時期を月 2 桁で答えてください。

なお、決算時期が複数ある場合は、余白に記入してください。

#### **107. 子会社、孫会社の別**

現地法人が、貴社からみて子会社、孫会社のどちらに該当するのか、該当する番号に○印をつけてください。

**子会社**とは、貴社を含めた日本側の出資比率が10%以上の海外法人（ただし、貴社が日本側最大の出資比率の場合、また同率の最大出資者がいる場合は貴社が幹事会社の場合）をいいます。

**孫会社**とは、貴社を含めた日本側の出資比率が50%超（ただし、貴社が日本側最大の出資比率の場合、また同率の最大出資者がいる場合は貴社が幹事会社の場合）の海外法人が、50%超出資している海外法人をいいます。

##### **孫会社の場合の直接の親会社名**

当該現地法人が貴社からみて孫会社に当たる場合、貴社からみた子会社（当該現地法人からみて親会社）の名称を、英文名（A B C 等のアルファベット、すべて大文字）で記入してください。



中華人民共和国の現地法人の場合においても同様にご協力をお願いします。

(例) 上海経産電機有限公司 → SHANGHAI KEISAN ELECTRIC CO. LTD.

## 108. 持株会社、非持株会社の別

現地法人が、持株会社（純粋持株会社、事業持株会社）、非持株会社のどちらに該当するのか、該当する番号に○印をつけてください。

**持株会社**とは、事業活動を営むことを目的とするのではなく、他の複数の会社の株式を所有することによって、それらを支配することを主たる目的とし、グループ全体の経営計画立案などに携わる会社をいいます。

**純粋持株会社**とは、上記持株会社のうち、事業活動を営まず、子会社の事業活動を支配管理することのみを目的とした会社をいいます。

**事業持株会社**とは、上記持株会社のうち、自らも事業活動を営み、かつ、子会社の事業活動をも支配する会社をいいます。

## 2 出資状況

### 201. 資本金又は出資金

授權資本の額ではなく、払込済み資本金の額を記入してください。

なお、ここでいう出資金とは、株式会社等での資本金にあたるもので、具体的には組合等を想定しています。日本側出資者が出資分担した額のことではありませんのでご注意ください。

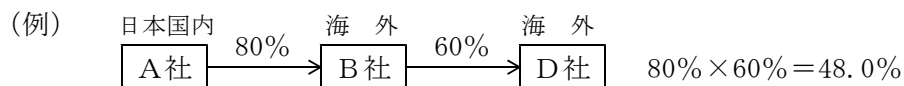
また、円換算する際は、貴社が資本金等へ出資した時のレートを継続的に使用してください。

したがって、実際に増資、減資等が行われなければ資本金は、為替レートの変動という理由では動かないことになります。

### 202. 日本側出資比率

現地法人の現在の貴社を含めた日本側の出資比率を小数点第1位（小数点第2位を四捨五入）まで右詰めで記入してください。

なお、孫会社の場合は、「子会社」への日本側出資比率×「子会社」の「孫会社」への出資比率（間接出資比率）を日本側出資比率としてください。



## 3 操業状況

### 301. 操業状況

調査時点（平成19年3月末現在）における現地法人の操業状況について、該当する番号に○印をつけてください。

#### 1. 操業中

操業中とは、実際に操業を行っている、営業を行っている場合をいいます。

これに該当する場合は、これ以降の項目は「4 解散、撤退・移転、出資比率の低下の状況」を除き、すべての項目に記入してください。

#### 2. 初決算前

初決算前とは、設立し操業をはじめたが、まだ最初の決算を迎えていない場合をいいます。

これに該当する場合は、これ以降の項目は記入の可能なものについてのみ記入してください。概算あるいは推計によるものでも結構です。

### 3. 未設立・未操業

未設立とは、出資の届出等をした後、未だ設立されていない場合をいい、未操業とは、設立はされたが、未だ操業していない場合をいいます。

これに該当する場合は、これ以降の項目は記入の可能なものについてのみ記入してください。概算あるいは推計によるものでも結構です。

### 4. 休眠中

休眠中とは、操業（営業）を行っていない場合をいいます。

これに該当する場合は、これ以降の項目は記入の可能なものについてのみ記入してください。概算あるいは推計によるものでも結構です。

### 5. 解散、撤退・移転

**解散**とは、会社が営業活動をやめ、その法人格の消滅を期す状態に入ることを行います。

解散には、清算（合併以外の原因によって会社が解散した後に、会社の法律関係を処理する手続きのことを指します。）や、いわゆる倒産、破産なども含みます。

**撤退**とは、当該現地法人の売却、吸収・合併が行われ、結果的に日本側出資比率が0%となったことをいいます。

**移転**とは、他地域へ転居又は統合（統合とは我が国同一本社企業に係る複数の現地法人間で1つになることを指します。）されたが、当該現地法人の営業が何らかの形で継続していることをいい、具体的には、現地法人が当該所在地から消滅した後に、第三国地域又は日本国内へ完全に移る場合をいいます。同一国内、同一地域内で移転する場合は移転とは扱いません。

これに該当する場合は、「**4** 解散、撤退・移転、出資比率の低下の状況」のみ記入してください。

### 6. 出資比率の低下

**出資比率の低下**とは、当該現地法人の日本側出資比率の合計が10%未満に低下して0%超10%未満となった場合をいいます。

これに該当する場合は、「**4** 4-1. 解散、撤退・移転、出資比率の低下の時期」のみ記入してください。

## **4 解散、撤退・移転、出資比率の低下の状況**

### 4-1. 解散、撤退・移転、出資比率の低下の時期

貴社が解散を行った時期、撤退・移転を行った時期、出資比率低下の時期について、該当する番号に○印をつけてください。

### 4-2. 解散、撤退・移転の要因

貴社が解散を行った主な要因、撤退・移転を行った主な要因を、選択肢の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

## **5 雇用の状況（平成19年（2007年）3月末現在）**

### 501. 常時従業者数

平成19年（2007年）3月末現在の有給役員と常用雇用者の合計人数を記入してください。

常用雇用者とは、正社員、準社員、アルバイト等の呼称にかかわらず、1か月を超える雇用契約者と平成19年（2007年）3月末の前2か月において、それぞれ18日以上雇用した者をいいます。

また、現地法人が給与を支給しているか否かは問いません。

なお、平成19年（2007年）3月末現在の状況を記入できない場合には、それ以前で最も近い記入可能な時点の常時従業者数を記入してください。

## **6 事業活動の状況**

### **6-1 売上高**

#### **611. 売上高**

##### **(1) 平成18年度（2006年度）実績額**

売上実績は、平成18年度における自社鉱産品売上高、自社製造品売上高、加工賃収入額（他企業から支給された原材料、半製品、部品を加工した場合の加工賃）、仕入商品売上高、その他の事業収入額（建設業の完成工事高、農林水産業、飲食店、サービス業の収入等、代理商、仲立業における売上高は、商品の取扱額ではなく手数料収入額）の合計額を記入してください。

※ 612. 日本向け輸出額、613. 現地販売額、614. 第三国向け輸出額の合計額となります。

##### **(2) 平成19年度（2007年度）見込額**

平成19年度（2007年度）における売上見込額を記入してください。

#### **612. 日本向け輸出額**

平成18年度（2006年度）の売上高のうち、日本向けに輸出した金額（自社名義で通関手続きを行って輸出した金額）を記入してください。

#### **613. 現地販売額\*\***

平成18年度の売上高のうち、現地法人の所在している国内での売上高を記入してください。

#### **614. 第三国向け輸出額\*\***

平成18年度の売上高のうち、日本以外の国に対して輸出した金額の合計を記入してください。当該現地法人の所在する国での販売は、614. 第三国向け輸出額ではなく、613. 現地販売額の欄に記入してください

※ 615. 北米、616. アジア、617. ヨーロッパ、618. その他の地域の合計額となります。

※日本向け輸出額、第三国向け輸出額については、自社名義で通関手続きを行って、直接輸出した額を記入してください。また、契約先と仕向先が異なる場合は仕向先で記入してください。

**\*\* 貴社が中国本土、香港に現地法人を所有している場合は、以下の点にご留意ください。 \*\***

※貴社が所有している中国本土の現地法人が、中国本土間に販売するときは

「613. 現地販売額」の欄へ記入をしてください。

※貴社が所有している中国本土の現地法人から、香港へ販売するときは

「614. 第三国向け輸出額（616アジア）」の欄に記入してください。

※貴社が所有している香港の現地法人が、香港で販売するときは

「613. 現地販売額」の欄へ記入してください。

※貴社が所有している香港の現地法人から、中国本土へ販売するときは

「614. 第三国向け輸出額（616アジア）」の欄に記入してください。

#### **615～618. 北米～その他の地域**

上記の614. 第三国向け輸出額の内訳を、615. 北米、616. アジア、617. ヨーロッパ、618. その他の地域に記入してください。

## 6-2 仕入高

### 621. 仕入高

#### (1) 平成18年度（2006年度）実績額

仕入実績は、平成18年度における原材料、部品、半製品などの仕入高及び他の企業からの商品仕入高の合計値を記入してください。

※ 622. 日本からの輸入額、623. 現地調達額、624. 第三国からの輸入額の合計額となります。

#### (2) 平成19年度（2006年度）見込額

平成19年度（2007年度）における仕入見込額を記入してください。

### 622. 日本からの輸入額

平成18年度（2006年度）の仕入高のうち、日本から輸入した金額（自社名義で通関手続きを行って輸入した金額）を記入してください。

### 623. 現地調達額\*\*

平成18年度の仕入高のうち、現地法人の所在している国内から仕入れた額を記入してください。

### 624. 第三国からの輸入額\*\*

平成18年度の仕入高のうち、日本以外の国から輸入した金額の合計を記入してください。

当該現地法人の所在する国からの調達は、624. 第三国からの輸入額ではなく、623. 現地調達額の欄に記入してください

※ 625. 北米、626. アジア、627. ヨーロッパ、628. その他の地域の合計額となります。

※日本からの輸額、第三国からの輸入額については、自社名義で通関手続きを行って、直接輸入した額を記入してください。また、契約先と実際の輸入先が異なる場合は、実際の輸入先で記入してください。

**\*\* 貴社が中国本土、香港に現地法人を所有している場合は、以下の点にご留意ください。 \*\***

※貴社が所有している中国本土の現地法人が、中国本土から仕入れたときは

「623. 現地調達額」の欄へ記入をしてください。

※ 貴社が所有している中国本土の現地法人が、香港から仕入れたときは

「624. 第三国からの輸入額（626アジア）」の欄へ記入をしてください

※貴社が所有している香港の現地法人が、香港から仕入れたときは

「623. 現地調達額」の欄へ記入をしてください。

※貴社が所有している香港の現地法人が、中国本土から仕入れたときは

「624. 第三国からの輸入額（626アジア）」の欄へ記入をしてください

### 625～628. 北米～その他の地域

上記の624. 第三国からの輸入額の内訳を、625. 北米、626. アジア、627. ヨーロッパ、628. その他の地域に記入してください。

## 7 費用、収益・利益処分、研究開発の状況

### 7-1 費用

#### 711. 売上原価

売上高に対応する製造原価（製造に要した材料費、労務費、諸経費）、商品仕入高など、現地法人全体の原価（建設業においては建設工事原価）を記入してください。

## 712. 販売費・一般管理費

販売業務、一般管理業務に関して発生する費用(営業や企業全般に及ぶ管理業務に要した給料、旅費、広告宣伝費、情報処理費、通信費、不動産賃借料、動産賃借料等。以下「販管費」という。)の合計額を記入してください。

## 713. 給与総額

支給された給与額又は支給されるべき給与額(基本給、諸手当、賞与等で定期的、臨時的に支払われたもの)の総額を、税込み金額(所得税、地方税、社会保険料(健康保険、厚生年金保険等)及び労働保険料等を差引く前の額)で記入してください。ただし、会社負担の法定福利厚生費(社会保険料(健康保険、厚生年金保険等)、労働保険料)は含めません。

なお、売上原価に含まれる給与と、販管費に含まれる給与の合計額を記入してください。

## 714. 荷造運搬費

鉱産品、製造品、商品の梱包のための荷造材料費、荷造費又は輸送のための運送料等の費用(当該業務の委託費用を含む。)を記入してください。

なお、売上原価に含まれる荷造運搬費と、販管費に含まれる荷造運搬費の合計額を記入してください。

## 715. 賃借料

土地、建物などの不動産賃借料と、鉱山機械、製造機械、自動車、ショーケース、事務用機械等の動産賃借料の合計額を記入してください。ただし、端末機を含むコンピュータの賃借料は、本項目からは除いてください。

なお、売上原価に含まれる賃借料と、販管費に含まれる賃借料の合計額を記入してください。

## 716. 減価償却費

有形固定資産の減価償却として計上された額を記入してください。

なお、売上原価に含まれる減価償却費と、販管費に含まれる減価償却費の合計額を記入してください。

① 直接法による場合：減価償却費として有形固定資産勘定から控除した額

② 間接法による場合：減価償却累計額に引き当てられた額

## 7-2 収益・利益処分

### 721. 経常利益

営業損益と営業外損益の合計額を記入してください。

損失の場合は金額の先頭に「△」をつけてください。

また、次式により算出しても差し支えありません。

経常損益＝(売上高－売上原価－販管費)＋(営業外収益－営業外費用)

※当該国の会計原則で経常損益の概念がない場合は、税引前損益を記入してください。

### 722. 当期純利益

経常利益と特別損益の合計額から法人税等を差し引いた金額を記入してください。

損失の場合は金額の先頭に「△」をつけてください。

### 723. 当期内部留保額

平成18年度(2006年度)に係る利益処分により積立てられた内部留保額について、次式により算出された金額をご記入ください。

取崩(マイナス)の場合は金額の先頭に「△」をつけてください。

当期内部留保額＝当期純損益－役員賞与－配当金

## 724. 平成18年度（2006年度）末内部留保残高

平成18年度（2006年度）の期末時点における内部留保残高について、次式により算出された金額を記入してください。

欠損（マイナス）の場合は金額の先頭に「△」をつけてください。

年度末内部留保残高＝自己資本－資本金－資本準備金

なお、平成18年度（2006年度）の期末時点において、新株払込金がある場合には、資本金び資本準備金と同様に、自己資本より控除して算出してください。

## 7-3 支払い費用

### 731. 日本側出資者向け支払い費用

現地法人から日本側出資者に対して支払われた配当金、ロイヤルティ、借入金利息、技術指導料等の費用総額を決算ベースの金額で記入してください。

## 7-4 研究開発費

### 741. 研究開発費

試験研究のための人件費、物件費に、研究関係有形固定資産の減価償却費、共同研究分担金、研究委託費を含めて記入してください。

ここでいう研究開発とは、事物、機能、現象などについて新知識を得るために、または既存の知識の新しい活用の道を開くために行われる創造的な努力及び探求をいいます。

また、製造企業の場合にはいわゆる研究のみならず、製品及び生産・製造工程などに関する開発や技術的改善を図るために行われる活動も研究に含まれます。

研究開発費とは上述の研究開発の為に費やされる費用をさします。

## 8 設備投資の状況

### 801. 設備投資額

#### (1) 平成18年度（2006年度）実績額

当該期間中の有形固定資産（建設仮勘定を含み、土地を除く）の償却前の取得額を記入してください。

#### (2) 平成19年度（2007年度）見込額

平成19年度（2007年度）における見込額をご記入ください。

別表1. 国分類、地域分類表(付、国別通貨換算表) 北米・中南米・アジア

番号	国・地域名	通貨単位	円換算値
	〔北 米〕		
101	アメリカ	Dollar	116.30
102	カナダ	Dollar	102.52
	〔中南米〕		
201	メキシコ	Peso	10.67
202	パナマ	Balboa	116.30
203	エルサルバドル	Colon	13.29
204	ブラジル	Real	53.47
205	アルゼンチン	Peso	38.08
206	パラグアイ	Guarani	0.02
207	チリ	Peso	0.22
208	ペルー	Nuevo Sol	35.52
209	ドミニカ共和国	Dollar	3.49
210	ベネズエラ	Bolivar	0.05
211	ボリビア	Boliviano	14.52
212	バハマ連邦	Dollar	116.30
213	コロンビア	Peso	0.05
214	グアテマラ	Quetzal	15.30
215	エクアドル	Sucre	0.005
216	蘭領アンティール	Guilder	64.97
217	ニカラグア	Cordoba	6.62
218	コスタリカ	Colon	0.23
219	トリニダード・トバゴ	Dollar	18.44
220	バーミューダ(英)	Dollar	116.30
221	プエルトリコ(米)	Dollar	116.30
222	仏領西インド諸島		-
223	ホンジュラス	Lempira	6.16
224	スリナム	Dollar	42.39
225	ジャマイカ	Dollar	1.77
226	ガイアナ	Dollar	0.58
227	ケイマン諸島(英)	Dollar	145.55
228	バージン諸島(英)	Dollar	116.30
229	ウルグアイ	Peso	4.83
299	その他の中南米		-
	・キューバ ・ハイチ ・ベリーズ ・セントルシア ・アンティグア・バーブータ ・ドミニカ国 ・セントクリストファー・ネーヴィス ・セントビンセント ・仏領ギアナ		

番号	国・地域名	通貨単位	円換算値
	〔アジア〕		
302	インド	Rupee	2.57
303	パキスタン	Rupee	1.93
304	バングラデシュ	Taka	1.69
305	スリランカ	Rupee	1.12
306	ミャンマー	Kyat	20.11
307	マレーシア	Ringgit	31.70
308	シンガポール	Dollar	73.19
309	タイ	Baht	3.07
310	インドネシア	Rupiah	0.01
311	フィリピン	Peso	2.27
312	カンボジア	Riel	0.03
313	ラオス	Kip	0.01
314	香港	Dollar	14.97
315	台湾	Dollar	3.62
316	ベトナム	Dong	0.01
317	大韓民国	Won	0.12
318	ネパール	Rupee	1.60
319	ブルネイ	Dollar	73.19
320	中華人民共和国	Yuan	14.59
321	マカオ	Pataca	14.54
399	その他のアジア		-
	・ブータン ・モンゴル ・北朝鮮 ・東ティモール ・モルディブ		

注1. 当該国の円換算レートに記載がない場合は、貴社内部の社内レートを  
使用してください。

注2. 現地通貨から日本円への換算は、IMF公表の「IFS」における  
2006年期中平均レートによりました。

別表1. 国分類、地域分類表(付、国別通貨換算表) 中東・ヨーロッパ

番号	国・地域名	通貨単位	円換算値
	〔中 東〕		
401	イラン	Rial	0.01
402	イスラエル	NewShekel	26.10
403	クウェート	Dinar	400.80
404	レバノン	Pound	0.08
405	サウジアラビア	Riyal	31.05
406	アラブ首長国連邦	Dirham	31.67
407	アフガニスタン	Afghani	2.41
408	バーレーン	Dinar	309.31
409	カタール	Riyal	31.95
410	シリア	Pound	10.36
411	イラク	New Dinar	0.08
499	その他の中東		-
その他の地域	・オマーン ・イエメン ・ヨルダン		

番号	国・地域名	通貨単位	円換算値
	〔ヨーロッパ〕		
501	イギリス	Pound	214.29
502	フランス	Euro	145.90
503	ドイツ	Euro	145.90
504	ベルギー	Euro	145.90
505	アイルランド	Euro	145.90
506	スイス	Franc	92.76
507	ポルトガル	Euro	145.90
508	オランダ	Euro	145.90
509	イタリア	Euro	145.90
510	ルクセンブルグ	Euro	145.90
511	スペイン	Euro	145.90
512	ギリシャ	Euro	145.90
513	マルタ	Lira	341.31
514	オーストリア	Euro	145.90
515	ノルウェー	Krone	18.13
516	デンマーク	Krone	19.56
517	アイスランド	Krona	1.66
518	スウェーデン	Krona	15.76
519	トルコ	New Lira	81.41
520	ルーマニア	Leu	41.40
521	フィンランド	Euro	145.90
522	モナコ	Euro	145.90
523	キプロス	Pound	253.63
524	ポーランド	Zloty	37.48
525	ロシア	Ruble	4.28
526	ハンガリー	Forint	0.55
527	チェコ	Koruny	5.15
528	スロバキア	Koruny	3.92
530	スロベニア	Tolars	0.61
531	エストニア	Krooni	9.33
532	ラトビア	Lats	207.68
533	リトアニア	Litai	42.26
534	ブルガリア	Lev	74.58
599	その他のヨーロッパ		-
その他の地域	・カザフスタン ・サンマリノ ・ジブラルタル(英) ・ウズベキスタン ・アゼルバイジャン ・アンドラ ・アゾレス(ポルトガル) ・リヒテンシュタイン ・キルギス ・パチカン ・アルメニア ・アルバニア ・ウクライナ ・グルジア ・クロアチア ・セルビア ・タジキスタン ・トルクメニスタン ・ベラルーシ ・ボスニア・ヘルツェゴビナ ・モルドバ ・モンテネグロ		

注1. 当該国の円換算レートに記載がない場合は、貴社内部の社内レートを使用してください。

注2. 現地通貨から日本円への換算は、IMF公表の「IFS」における2006年期中平均レートによりました。



別表1. 国分類、地域分類表(付、国別通貨換算表) オセアニア・アフリカ

番号	国・地域名	通貨単位	円換算値
	〔オセアニア〕		
601	オーストラリア	Dollar	87.62
602	ニュージーランド	Dollar	75.54
603	フィジー	Dollar	66.77
604	パプア・ニューギニア	Kina	38.05
605	サモア	Tala	41.86
606	パラオ	Dollar	116.30
607	北マリアナ諸島(米) (グアム)	Dollar	116.30
608	バヌアツ共和国	Vatu	1.05
609	ソロモン諸島	Dollar	15.28
610	ニューカレドニア(仏)	CFP	1.22
699	その他のオセアニア		-
その他の地域	・トンガ ・キリバス ・ナウル ・仏領ポリネシア ・ミクロネシア ・ツバル	など	

番号	国・地域名	通貨単位	円換算値
	〔アフリカ〕		
701	エジプト	Pound	20.29
702	モロッコ	Dirham	13.22
703	ジンバブエ	Dollar	1.17
704	リベリア	Dollar	2.00
705	タンザニア	Shilling	0.09
706	スーダン	Dinar	0.54
707	ナイジェリア	Naira	0.91
708	コートジボワール	CFAF	0.22
709	マダガスカル	Ariary	0.05
710	ケニア	Shilling	1.61
711	エチオピア	Birr	13.37
712	ザンビア	Kwacha	0.03
713	ウガンダ	Shilling	0.06
714	ガーナ	Cedi	0.01
715	カメルーン	Franc	0.22
716	コンゴ共和国	Franc	0.22
717	コンゴ民主共和国	Franc	0.26
718	モーリシャス	Rupee	3.67
719	カナリア諸島(西)	Esp	0.96
720	ルワンダ	Franc	0.21
721	ガボン	Franc	0.22
722	シエラレオネ	Leone	0.04
723	ガンビア	Dalasi	4.14
724	モーリタニア	Ouguiya	0.43
725	セネガル	Franc	0.22
726	スワジランド	Lilangeni	17.17
727	リビア	Dinar	93.45
728	ギニア	Franc	0.02
729	ニジェール	Franc	0.22
730	チュニジア	Dinar	87.38
731	南アフリカ	Rand	17.17
799	その他のアフリカ		-
その他の地域	・アルジェリア	・ジブチ	
	・アンゴラ	・ソマリア	
	・ザンビア	・セーシェル	
	・ナミビア	・モザンビーク	
	・ボツワナ	・セントヘレナ及び	
	・西サハラ	その附属諸島	
	・トーゴ		
	・マリ		など
	・ベナン		
	・チャド		
	・中央アフリカ		
	・サントメ・プリンシペ		

注1. 当該国の円換算レートに記載がない場合は、貴社内部の社内レートを  
使用してください。

注2. 現地通貨から日本円への換算は、IMF公表の「IFS」における  
2006年期中平均レートによりました。

別表 2. 米国の州分類表

州 名	州番号	州 名	州番号	州 名	州番号
Alabama	3 0	Maine	4 0	Oregon	0 2
Alaska	4 9	Maryland	4 8	Pennsylvania	3 6
Arizona	0 7	Massachusetts	4 3	Rhode Island	4 4
Arkansas	2 1	Michigan	2 6	South Carolina	3 9
California	0 4	Minnesota	1 8	South Dakota	1 3
Colorado	1 0	Mississippi	2 5	Tennessee	2 9
Connecticut	4 5	Missouri	2 0	Texas	1 7
Delaware	4 7	Montana	0 8	Utah	0 6
Florida	3 4	Nebraska	1 4	Vermont	4 2
Georgia	3 3	Nevada	0 3	Virginia	3 7
Hawaii	5 0	New Hampshire	4 1	Washington	0 1
Idaho	0 5	New Jersey	4 6	Washington, D. C.	5 1
Illinois	2 4	New Mexico	1 1	West Virginia	3 2
Indiana	2 7	New York	3 5	Wisconsin	2 3
Iowa	1 9	North Carolina	3 8	Wyoming	0 9
Kansas	1 5	North Dakota	1 2		
Kentucky	2 8	Ohio	3 1		
Louisiana	2 2	Oklahoma	1 6		

別表 3. 中国の省分類表

省 名	省番号	省 名	省番号
シチヤンウイグル自治区	0 1	江 蘇 省	1 7
チベット自治区	0 2	山 東 省	1 8
甘 肅 省	0 3	河 南 省	1 9
青 海 省	0 4	山 西 省	2 0
四 川 省	0 5	内 蒙 古 自 治 区	2 1
雲 南 省	0 6	寧夏回族自治区	2 2
貴 州 省	0 7	陝 西 省	2 3
湖 南 省	0 8	黒 竜 江 省	2 4
広西壮族自治区	0 9	吉 林 省	2 5
湖 北 省	1 0	遼 寧 省	2 6
広 東 省	1 1	天 津 市	2 7
海 南 省	1 2	北 京 市	2 8
江 西 省	1 3	上 海 市	2 9
浙 江 省	1 4	河 北 省	3 0
安 徽 省	1 5	重 慶 市	3 1
福 建 省	1 6		

別表 4 . 業 種 分 類 表

番号	業 種 名	内 容 例 示
0101 0102 0103	農業、林業、漁業 農業 林業 漁業・水産養殖業	耕種農業、畜産農業、農業・園芸サービス業等 育林業、素材生産業、製薪業、木炭業、林業サービス業等 一般海面漁業、捕鯨業、内水面漁業、海面養殖業、内水面養殖業
0201	鉱業 鉱業	金属鉱業（金、銀、鉛、亜鉛、鉄、タングステン等）、石炭・亜炭鉱業（炭鉱等）、原油・天然ガス鉱業、非金属鉱業（採石、砂、砂利、玉石、ドロマイト、石灰石等）
0301	建設業 建設業	総合工事業（土木建築工事業、舗装工事業、木造建築工事業等）、職別工事業（塗装工事業、床・内装工事業等）、設備工事業（電気工事業、電気通信・信号設置工事業等）
0401 0402 0403 0404	食料品、飲料・たばこ・飼料製造業 食料品製造業 飲料製造業 たばこ製造業 飼料・有機質肥料製造業	畜産食料品、水産食料品、精穀・製粉、調味料等 清涼飲料、酒類等 配合飼料、有機質飼料等
0501 0502 0503 0504 0505	繊維工業、衣服・その他の繊維製品製造業 製糸・紡績業 織物・ニット生地製造業 その他の繊維工業 衣服・その他の繊維製品製造業 化学繊維製造業	製糸、綿紡績、化学繊維紡績、毛紡績等 綿・スフ織物、毛織物、丸編ニット生地等 染色・整理、ねん糸、網、綱、レース、繊維雑品、敷物等 織物製外衣、ニット製外衣、下着、和装製品等 レーヨン・アセテート、合成繊維
0601 0602 0603	木材・木製品、パルプ・紙・紙加工品製造業 木材・木製品製造業 パルプ・紙製造業 紙加工品製造業	一般製材、ベニヤ板、合板、パーティクルボード等 パルプ、洋紙、板紙、和紙 段ボール、壁紙、事務用紙、紙製容器等
0701 0702 0703 0704 0705 0706 0707	化学工業 化学肥料製造業 無機化学工業製品製造業 有機化学工業製品製造業 油脂加工製品・石けん・合成洗剤・界面活性剤・塗料製造業 医薬品製造業 化粧品・歯磨、その他の化粧用調整品製造業 その他の化学工業	窒素質・りん酸質肥料、複合肥料等 ソーダ、カルシウムカーバイド、りん酸、塩等 エチレン等石油化学系基礎製品、脂肪族系中間物、フェノール樹脂等プラスチック、合成ゴム等 脂肪酸、グリセリン、石けん、合成洗剤、界面活性剤、塗料、印刷インキ等 医薬品、注射材、生薬・漢方製剤等 化粧品、歯磨等 火薬類、農薬、ゼラチン、接着剤、写真感光材料等

番号	業 種 名	内 容 例 示
0801 0802	石油製品・石炭製品製造業 石油精製業 その他の石油製品・石炭製品製造業	ガソリン、ナフサ、灯油、軽油、重油等 潤滑油、グリース、コークス、練炭、豆炭、舗装材料等
0901 0902 0903	窯業・土石製品製造業 ガラス・同製品製造業 セメント・同製品製造業 その他の窯業・土石製品製造業	板ガラス、ガラス容器、理化学用・医療用ガラス器具等 セメント、生コンクリート、コンクリート製品等 陶磁器・同関連製品、建設用粘土製品、耐火物、炭素・黒鉛製品、研磨材等
1001 1002	鉄鋼業 銑鉄・粗鋼・鋼材製造業 鋳鍛造品・その他の鉄鋼製品製造業	銑鉄、粗鋼、鋼材、鋼管等 銑鉄鋳物、鋳鋼等鉄素形材、鉄鋼シャースリット等
1101 1102	非鉄金属製造業 非鉄金属製錬・精製業 その他の非鉄金属製品製造業	銅、鉛、亜鉛、貴金属、ニッケル、アルミニウム等 伸銅品等非鉄金属・同合金圧延製品、電線、ケーブル、非鉄金属鋳物、非鉄金属鍛造品
1201 1202	金属製品製造業 建設用・建築用金属製品製造業 その他の金属製品製造業	鉄塔、橋りょう等建設用金属製品、金属扉、シャッタ、金属製物置等建築用金属製品等 ブリキ缶、めっき板、洋食器、刃物、金物、暖房装置、金属素形材、金属線製品、ボルト、ナット、リベット等
1301 1302 1303 1304	一般機械器具製造業 金属加工機械製造業 特殊産業用機械製造業 事務用・サービス用・民生用機械器具製造業 その他の一般機械器具製造業	旋盤、ボール盤等金属工作機械、圧延機械、ベンディングマシン等金属加工機械等 農業用機械、建設機械、鉱山機械、繊維機械、プラスチック加工機械等 事務用機械、冷凍機、自動販売機、営業用洗濯機、娯楽機器等 ボイラ、原動機、ポンプ、圧縮機、エレベータ、消火器、軸受、金型、産業用ロボット等
1401 1402 1403 1404	電気機械器具製造業 産業用電気機械器具製造業 民生用電気機械器具製造業 電子応用装置製造業 その他の電気機械器具製造業	発電機、電動機、その他の回転機械、変圧器類、開閉装置、配電盤、分電盤、電気溶接機、電気炉等 電子レンジ、冷蔵庫、電気がま、扇風機、温水器、洗濯機、掃除機、アイロン、エアコン、電気ストーブ等 X線装置、ビデオ機器、医療用電子応用装置、電子顕微鏡等 その他の電子応用装置 電球、蛍光灯等電球・電気照明器具、電気計測器、工業計器、化学分析機器、蓄電池、乾電池、磁気テープ、シリコンウエハ、永久磁石等

番号	業 種 名	内 容 例 示
1501	情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業 通信機械器具・同関連機械器具製造業	電話機、ファクシミリ等有線通信機械器具、ラジオ・テレビ放送装置、携帯電話等無線通信機械器具、ラジオ・テレビ受信機、ステレオ、テープレコーダー、カラオケ等電気音響機器等
1502	電子計算機・同付属装置製造業	電子計算機、パーソナルコンピューター、記憶装置、入出力装置、磁気テープ装置、OCR等電子計算機・同付属装置
1503	電子部品・デバイス製造業	ブラウン管等電子管、ダイオード、トランジスタ等半導体素子、集積回路、抵抗器、コンデンサ、変成器、プリント回路、磁気ヘッド、整流器等
1601	輸送機械器具製造業 自動車、自動車車体・附随車製造業	乗用車、バス、トラック、二輪自動車
1602	自動車部品・付属品製造業	自動車エンジン、ブレーキ、クラッチ車軸、ラジエータ、デフアレシヤルギア等
1603	その他の輸送用機械器具製造業	鉄道車輛・同部品、船舶、船用機関、航空機・同付属品、産業用車輛・同部品付属品、自転車・同部品等
1701	精密機械器具製造業 光学機械器具・レンズ製造業	カメラ、顕微鏡、望遠鏡、映画用機械、光学機械用レンズ、プリズム等
1702	時計・同部品製造業	時計、電気時計、時計部分品、時計側
1703	その他の精密機械器具製造業	計量器、測定器、分析機器、試験器、測定機械器具、医療用機械器具、理化学機械器具、眼鏡等
1801	その他の製造業 家具・装備品製造業	家具、宗教用具、建具等
1802	印刷・同関連業	印刷業、製版業、製本業、印刷物加工業、印刷関連サービス業
1803	プラスチック製品製造業	プラスチック板・棒・管・継手・異形押出製品・フィルム・シート・床材、合成皮革、工業用プラスチック製品、発泡・強化プラスチック製品、プラスチック成型材料等
1804	ゴム製品製造業	タイヤ、チューブ、ゴム製・プラスチック製履物、ゴムベルト、ゴムホース、工業用ゴム製品等
1805	なめし革・同製品・毛皮製造業	なめし革、工業用革製品、革製履物、革製手袋、かばん、袋物、毛皮等
1806	その他の製造業	貴金属・宝石製品、楽器、がん具、運動用具、ペン・鉛筆等事務用品、装身具、装飾品、ボタン、漆器、畳・傘等生活雑貨、武器等
1901	電気、ガス、熱供給業、水道業 電気業、ガス業、熱供給業、水道業	発電所、変電所、電気事業所、ガス製造工場、ガス供給所、ガス事業所、熱供給業、上水道業、工業用水道業、下水道業
2001	情報通信業 通信業	伝書送達業、固定電気通信業、移動電気通信業
2002	放送業	公共放送業、民間放送業、有線放送業
2003	情報サービス業	ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業

番号	業 種 名	内 容 例 示
2004	インターネット附随サービス業	サーバ・ハウジング業、アプリケーション・サービス・プロバイダー、電子認証業、情報ネットワーク・セキュリティ・サービス業、ポータルサイト運營業等
2005	映像・音声・文字情報制作業	映像情報製作・配給業、音声情報製作業、新聞業、出版業等
2011	運輸業 鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業
2012	倉庫業・運輸に付帯するサービス業	倉庫、港湾運送業、貨物運送取扱業、運送代理店、こん包業、運輸施設提供業等
2021	卸売・小売業 卸売業	各種商品卸売業、機械器具卸売業等
2022	小売業	各種商品小売業、自動車小売業、飲食料品小売業等
2031	金融・保険業 金融・保険業	銀行業、協同組織金融業、証券業、保険業等
2041	不動産業 不動産業	不動産取引業、不動産賃貸・管理業
2051	飲食店、宿泊業 飲食店	一般飲食店（食堂、レストラン等）、遊興飲食店（料亭、酒場、ビヤホール等）
2052	宿泊業	旅館、ホテル等
2061	医療、福祉、教育、学習支援、複合サービス業 医療、福祉	病院、保健所、保育所等
2062	教育、学習支援	学校、学習塾、技能教授所等
2063	複合サービス業	郵便局、協同組合
2071	サービス業 専門サービス業	法律事務所、特許事務所、公認会計士事務所、税理士事務所、獣医業、建築設計業、デザイン業、機械設計業、著述業、写真業、興信所等
2072	物品賃貸業	各種物品賃貸業、産業用機械器具賃貸業、自動車賃貸業等
2073	広告業	広告代理業、屋外広告業等
2074	その他のサービス業	学術・開発研究機関、洗濯・理容・美容・浴場業、他の生活関連サービス業（旅行業、冠婚葬祭業等）、娯楽業（映画館、スポーツ施設提供業、遊園地等）、廃棄物処理業、自動車整備業、機械等整備業、他の事業サービス業（速記、警備業等）、政治・経済・文化団体、宗教等
2081	公務 公務	国家公務、地方公務

注．「持株会社」は、子会社の主要な業種別格付けと同一のものに、また、「研究」は親会社と同一の業種格付けとしてください。